

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1249
施設名	目白ちとせ保育園
施設所在地	豊島区高田3-36-11
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

どんぐりに興味を持ち、公園や木ごとに落ちているどんぐりの違いを、図鑑を通して観察する。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

秋になりどんぐりに興味を持つ子どもの姿がよく見られるようになった。その際に、ただどんぐりを拾うだけでなく、拾ったどんぐりの種類を観察してみたら面白いのではと感じたから。

2. 活動スケジュール

3種類の公園を設定。日を分けて遊びに行きがてらどんぐり拾いを行う。図書館にてどんぐりの図鑑を借りる。

煮沸消毒後、3種類のどんぐりを観察、模写を行う。最後に使ったどんぐりはリースの飾りとして使用。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

準備物 透明カップ一人3個 どんぐりの図鑑

環境 図鑑は二人で1冊見れるよう設定

どんぐり拾いは十分な時間を設けて行った

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

拾ってきたどんぐりの形や色、帽子などを観察し、図鑑で調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

どんぐりの大きさや形の変化に気づく声が上がった。図鑑を見ながらどんぐりの種類を口にする子どもも。どんぐり拾いの段階では保育者も一緒に拾い、「色が違うね」「おおきいね」など声に出すようにした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちがどんぐり拾いに積極的に参加することは予測されていたが、3つの公園で行った時に飽きないか、種類の違いに気づくことができるのかと不安だったが、思ったよりも集中して参加する姿が見られた。図書館に行ったり模写をしたり、普段なかなか行わな活動を経て、より楽しんで秋の自然に深く関わる事が出来たのでよかったと思う。